



2022年12月21日

株式会社 阿波銀行

株式会社岩橋の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社岩橋（代表取締役 岩橋 公大、本社：徳島県阿南市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社岩橋
所在地	徳島県阿南市桑野町中野1番地2
代表者	岩橋 公大
業種	食料品小売業
設立	1956年5月1日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年12月21日



株式会社岩橋 代表取締役 岩橋 公大

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	職場の安全衛生の向上	全社員が安全に通勤し、健康的に過ごしていける会社組織を目指すため社員一人一人へ安全衛生に関する様々な機会を提供することに努めます。	① 安全衛生マネジメントシステムの推進（リスク評価、目標設定、対策実施など）		
			② 2025年3月までに交通事故防止や通勤時の事故対応についてマニュアル化し、事故時の対策について全員に周知		
環境	ゴミ・廃棄物削減	未来の地球環境を守るため、自社主力事業である牛乳の宅配をはじめとして、リサイクルやリユースできる商品を多くの方に提供していきます。	① (1)空きビンの分別回収・リサイクル活動 (2)ペーパーレス化の推進		
			② (1)牛乳ビンの回収利用率95%を達成 (2)お客さまから紙での申込をメールやSNSを活用した申込に順次切替		
社会	違法行為の防止	全社員が、法令順守について理解をし、違反する行為を行わないように防止します。	① 規程・方針にあらゆる違法行為を禁ずる旨を定める		
			② 2025年3月までに社内規程を再作成し、違法行為を禁ずる旨を定める 全従業員の入社退社時のアルコールチェック		
社会・経済	顧客ニーズや課題の把握・改善	製品に関する顧客の意見やニーズを積極的に収集し、顧客満足度向上に向け改善していきます。	① 顧客満足度（CS）調査の実施および職員による宅配先のお客さまの健康状態の把握等に努め、お客さま一人一人に提案していく仕組みづくり		
			② 年10件以上、顧客満足度向上		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。